

帰化許可申請書

平成 年 月 日

法務大臣 殿

日本国に帰化をしたいので、関係書類を添えて申請します。

帰化をしようとする者の写真（申請日の前6か月以内に撮影した5cm正方の単身、無帽、正面上半身のもの）

15歳未満の場合には、法定代理人と一緒に撮影した写真

(平成 年 月 日撮影)

帰化をしようとする者	国籍					
	出生地					
	住所 (居所)					
	(ふりがな)			通称名		
	氏名	氏	名			
	生年月日	大・昭・平 年 月 日生		父母との続柄	男女	
父母の氏名	父			母		
	氏	名		氏	名	
父母の本籍又は国籍						
養父母の氏名	養父			養母		
	氏	名		氏	名	
養父母の本籍又は国籍						
帰化後の本籍						
帰化後の氏名	氏	(の氏)			名	
申請者の署名又は法定代理人の住所、資格及び署名						
上記署名は自筆したものであり、申請者は写真等と相違ないことを確認した。 受付担当官						
電話連絡先	自宅	()	勤務先	()	携帯	()

- (注) 1 「申請年月日」及び「申請者の署名又は法定代理人の住所、資格及び署名」欄については、申請の受付の際に記載するので、あらかじめ記載しない。
 2 申請者が15歳未満である場合には、その法定代理人が署名する。
 3 確認欄については、記載しない。

履 歴 書

(そ の 1)

氏
名

年	月	日	居 住 関 係	学 歴・職 歴	身 分 関 係
					出生

- (注) 1 「年」については、日本の元号で記載する。
- 2 履歴事項については、古い年代のものから漏れなく記載する。例えば、学歴については、転校、中途退学、卒業の学部等についても記載し、職歴（本国での職歴や日本に入国した後に行ったアルバイト歴も含む。）については、勤務先だけでなく、担当した職種についても記載する。
また、身分関係については、父母の死亡及び事実婚についても記載する。
- 3 用紙が不足する場合には、同一用紙を用いて記載する。
- 4 この書面は、申請者ごとに作成するが、15歳未満のものについては、作成することを要しない。

履 歴 書

(そ の 2)

氏
名

出入国歴 (最近 年間)	回数	期 間				日 数	渡 航 先	目的, 同行者等
	1	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	2	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	3	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	4	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	5	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	6	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	7	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	8	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	9	平 ~	年 年	月 月	日 日			
	10	平 ~	年 年	月 月	日 日			
総 出 国 日 数								
技 能 資 格	年 月 日第1種普通自動車運転免許取得 (免許証番号第 号)							
賞 罰								
確 認 欄								

- (注) 1 「年」については、日本の元号で記載する。
 2 出入国歴については、法定住所期間におけるものを記載する。ただし、最短でも最近1年間の出入国歴を記載する。
 3 賞罰欄については、過去から現在までの全てのものを記載する。
 4 確認欄については、記載しない。

帰化の動機書

平成 年 月 日

申請者

- (注) 1 帰化をしたい理由（例えば、日本に入国するに至った経緯及び動機、日本での生活についての感想、日本に入国した後に行った社会貢献、本国に対する思い、帰化が許可された後において行うことを予定している社会貢献、帰化が許可された後における日本での生活の予定等）を具体的に記載し、末尾に作成年月日を記載し、署名する。
- 2 原則として、申請者が自筆（ワープロは不可）する。
- 3 この書面は、申請者ごとに作成するが、15歳未満のものについては、作成することを要しない。

宣 誓 書

私は、日本国憲法及び法令を守り、
定められた義務を履行し、善良な国民と
なることを誓います。

平成 年 月 日

氏 名

- (注) 1 氏名については、申請の受付の際に記載するので、あらかじめ記載しない。
2 この書面は、申請者ごとに作成するが、15歳未満のものについては、作成することを要しない。

生計の概要

(その1)

(平成 年 月 日作成)

収 入	氏 名	月 収 (円)	種 目	備 考	
		合 計			
支 出	支 出 科 目	金 額 (円)	備 考		
	食 費				
	住 居 費				
	教 育 費				
	返 済 金				
	生命保険等掛金				
	預 貯 金				
	そ の 他				
		合 計			
主 な 負 債	借 入 の 目 的	借 入 先	残 額	完 済 予 定	

- (注) 1 世帯を同じくする家族ごとに作成する。
 2 月収額については、申請時の前月分について、その手取額を記載する。
 3 収入の種目欄については、給与、事業収入、年金等の別を記載する。
 4 収入が世帯を異にする親族等からの仕送りによる場合には、月収欄に送金額を、種目欄に仕送りである旨を、備考欄に仕送人の氏名及び申請者との関係を、それぞれ記載する。

生 計 の 概 要 (その2)

	種 類	面 積	時 価 等	名 義 人
不 動 産				
預 貯 金	預 入 先		名 義 人	金 額 (円)
株 券 ・ 社 債 等	種 類	評 価 額	名 義 人 等	
高 価 な 動 産	種 類	評 価 額	名 義 人 等	

- (注) 1 高価な動産欄については、おおむね100万円以上のものを記載する。
 2 不動産については、国外にあるものも記載する。

在勤及び給与証明書

住 所

氏 名

大正・昭和・平成 年 月 日生

職 種 (具体的に)

上記の者は昭和・平成 年 月 日に当社に入社し、現在、

に勤務し、下記の給与を支給していることを証明します。

平成 年 月 日

本店所在地

会 社 名

代表取締役

⑩

給 与 関 係		平成 年 月分	
支 給 額	基 本 給	月給	円
		日給 (1ヵ月支給額)	円
	時 間 外 勤 務 手 当		円
	家 族 手 当		円
	勤 務 地 手 当		円
	そ の 他 の 手 当		円
	交 通 費		円
			円
	計		円
控 除 額	源 泉 所 得 税		円
	市 区 町 村 民 税		円
	健 康 保 険		円
	厚 生 年 金		円
	計		円
差 引 支 給 額			円
備 考			

申請者の(現・前)居宅付近の略図()

(氏名)

住所			
電話	()	: 自宅・携帯・呼出し	(方)
最寄り駅	線 行バス	駅下車 停留所下車	徒歩 分
近隣等で特に親しくしている人があればその人の住所・氏名・電話			

記入上の注意

目標、最寄りの交通機関、駅名、停留所
よりの所要時間、経路等を記載すること。

(注) 1. 過去3年のうち住所に変更のある人はその分(前住所地)も別紙用紙で上記と同様な略図を作成すること。

申請者の(現・前)勤務先(取引先)付近の略図

(氏名)

勤務先 (取引先)	(名称) (住所) 電話 ()						
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 100px; top: 250px;">記入上の注意</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 100px; top: 330px;">目標、最寄りの交通機関、駅名、停留所 よりの所要時間、経路等を記載すること。</p>							
最寄り駅	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">線</td> <td style="text-align: center;">駅下車</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">行バス</td> <td style="text-align: center;">停留所下車 徒歩</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> </table>	線	駅下車		行バス	停留所下車 徒歩	分
線	駅下車						
行バス	停留所下車 徒歩	分					
勤務先の直属の上司(取引先は担当者)の役職名・氏名							

(注) 1. 過去3年のうち勤務先に変更のある人はその分(前勤務先)も別紙用紙で上記と同様な略図を作成すること。

2. 取引先については上記のほか、主たる取引先2～3か所の略図を別紙用紙で作成すること。

親族の概要 (居住地区分/□日本 □外国)				
続柄	氏名 生年月日	年齢	職業	住所 ※死亡している場合は、住所の記載に代え、死亡日を記載
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)

交際状況等
①交際の有無, ②帰化意思の有無, ③申請者の帰化に対する意見, ④その他 (電話番号, 帰化申請日, 帰化日など)
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 郵便・轄
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 郵便・轄
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 郵便・轄
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 郵便・轄
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 郵便・轄
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 郵便・轄

- (注) 1 原則として、申請者を除いて記載する。
- 2 この書面に記載する親族の範囲は、申請をしていない「同居の親族」のほか、申請者の「配偶者 (元配偶者を含む。）」、「親 (養親を含む。）」、「子 (養子を含む。）」、「兄弟姉妹」、「配偶者の両親」、「内縁の夫(妻)」及び「婚約者」である。
 なお、これらの親族については、死亡者についても記載する。
- 3 この書面は、日本在住の親族と外国在住の親族とに用紙を分けて作成する。

親族の概要 (居住地区分/□日本 □外国)				
続柄	氏名 生年月日	年齢	職業	住所 ※死亡している場合は、住所の記載に代え、死亡日を記載
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)
	年 月 日生			(□ 年 月 日亡)

交際状況等
①交際の有無, ②帰化意思の有無, ③申請者の帰化に対する意見, ④その他 (電話番号, 帰化申請日, 帰化日など)
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 帰化・申請
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 帰化・申請
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 帰化・申請
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 帰化・申請
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 帰化・申請
①交際 / □有 □無 ②帰化意思 / □有 □無 ③意見 / □賛成 □反対 □特になし Tel. — — 年 月 日 帰化・申請

- (注) 1 原則として、申請者を除いて記載する。
- 2 この書面に記載する親族の範囲は、申請をしていない「同居の親族」のほか、申請者の「配偶者 (元配偶者を含む。)', 「親 (養親を含む。)', 「子 (養子を含む。)', 「兄弟姉妹」, 「配偶者の両親」, 「内縁の夫(妻)」及び「婚約者」である。
なお、これらの親族については、死亡者についても記載する。
- 3 この書面は、日本在住の親族と外国在住の親族とに用紙を分けて作成する。

申 述 書

私と_____との間に生まれた子は、下記のとおりです。

氏 名	続柄	生年月日	出生地等 (死亡している場合は、その年月日も記載する。)

年 月 日

住 所

氏 名

印